

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	()
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	栗東市
地域名 (地域内農業集落名)	六地藏 (六地藏)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	37.8 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	32.7 ha
② 田の面積	37.3 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.5 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	6.2 ha
(参考) 区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	0 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	0 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

平成31年1月に発足した特定農業法人である「梅ノ木ファーム栗東」であるが、運営スタッフの高齢化が進むため、後継者の確保が必要。

ほ場整備工事が進行中であり、効率の良い水田利用になるよる経営活動。

ほ場整備区域外の農地耕作者の高齢化に伴う後継者問題。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

スマート農業による機械化で大区画された農地で効率よく農産物を生産する。
担い手により米・麦・大豆のブロックローテーションを行い、作業の分散を行う。
みどり認定による環境にこだわった農業を展開する。
野菜栽培や地域特産物を生産するなど、小さい面積でも大きな収益をあげる。
ほ場整備された農地を利用し担い手が高収益作物を生産する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
中心経営体3農業者が連携し、ほ場整備事業区域内的の農地を効率的に活用する。 大型農業機械の導入とザルピオの活用による効率的な農業を行う。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	59.8	%	将来の目標とする集積率 76.2 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
ほ場整備事業を行った農地はおおむね中心経営体が経営する。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
ほ場整備事業を実施し、1区画の農地を大きくすることで、作業効率の良い農業経営を行う。ほ場整備区域内の農地は、おおむね担い手により経営する。(基盤整備関連経営体育成等促進計画令和4年10月による)
(2)農地中間管理機構の活用方法
34.1haの基盤整備事業整備区域内については、農地中間管理機構を活用し農地を集積する。
(3)基盤整備事業への取組
基盤整備関連経営体育成等促進計画、六地蔵地区、令和4年10月策定のとおり。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
ほ場整備事業区域以外の地域計画内農地3.7haについては、個人農業者が農業経営を継続する。その中で多様な経営体を確保し、集落営農組織のオペレーターや経営に参画できる農業に意欲のある後継者を育成する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
ドローンによる適期防除や大豆の収穫作業などは、JA等の農業支援サービスを活用することで収穫機械の保有によるコスト増などを削減する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☐ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

②滋賀県環境こだわり農産物の生産により、琵琶湖にやさしい農産物の栽培を行う。

③土壌診断等に基づく施肥設計により肥料の削減を行う。病虫害防除についても予報などに基づきドローンなどを活用し適期防除を行うことで減農薬につなげる。

⑧担い手の経営規模拡大により大型化する農業機械の収納のため農業用施設を建設する。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			別紙1のとおり				ha	ha	
							ha	ha	
							ha	ha	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	0経営体		0 ha	0 ha		0 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3: 提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

(別紙1)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 15 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1 認農・集	A	水稲・麦・大豆	17.4 ha	ha	水稲・麦・大豆	23.9 ha	ha	黄緑	
2 認農	B	野菜	2.5 ha	ha	野菜	2.5 ha	ha	水色	
3 認農	C	水稲・麦・大豆	0.9 ha	ha	水稲・麦・大豆	0.9 ha	ha	薄紫	
4 認農	D	水稲・野菜・果樹	1.3 ha	ha	水稲・野菜・果樹	1.3 ha	ha	オレンジ	
5 利用者	E	水稲	0.4 ha	ha	水稲	0.4 ha	ha	青(斜線)	
6 利用者	F	水稲	0.4 ha	ha	水稲	0.4 ha	ha	黄色	
7 利用者	G	水稲	0.6 ha	ha	水稲	0.6 ha	ha	ピンク	
8 利用者	H	水稲	0.4 ha	ha	水稲	0.4 ha	ha	茶色	
9 利用者	I	水稲	0.2 ha	ha	水稲	0.2 ha	ha	グレー	
10 利用者	J	水稲	0.2 ha	ha	水稲	0.2 ha	ha	深緑(斜線)	
11 利用者	K	水稲	0.5 ha	ha	水稲	0.5 ha	ha	こげ茶(斜線)	
12 利用者	L	水稲	0.3 ha	ha	水稲	0.3 ha	ha	赤	
13 利用者	M	水稲	0.5 ha	ha	水稲	0.5 ha	ha	紫(斜線)	
14 利用者	N	水稲	0.1 ha	ha	水稲	0.1 ha	ha	水色(格子)	
15 利用者	O	水稲	0.3 ha	ha	水稲	0.3 ha	ha	オレンジ(斜線)	
16 利用者	P	水稲・野菜・果樹	0.2 ha	ha	水稲・野菜・果樹	0.2 ha	ha	赤(斜線)	
17 利用者	Q	水稲	0.1 ha	ha	水稲	0.1 ha	ha	オレンジ(格子)	
18 利用者	R	水稲	0.1 ha	ha	水稲	0.1 ha	ha	赤(格子)	
19 利用者	S	水稲	0.3 ha	ha	水稲	0.3 ha	ha	緑(格子)	
20 利用者	T	花き	0.3 ha	ha		0 ha	ha		
21 認農	U	野菜	0.1 ha	ha	野菜	0.1 ha	ha	黄(黒斜線)	
22			ha	ha		ha	ha		
23			ha	ha		ha	ha		
24			ha	ha		ha	ha		
25			ha	ha		ha	ha		
計	21経営体		27.1 ha	0 ha		33.3 ha	0 ha		

目標地図

